

平成31年度 事業報告書

指定特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園

1. <基本方針>

法人の基本方針である「和顔愛語」「上敬下愛」に基づき、ゲストが施設の中で人間として尊厳を保ち、健やかで快適かつ生きがいのある生活が営めるように努める。また、措置施設として地域社会における役割を果たせるように努める。

2. <平成31年度重点目標> ※大慈吉祥園に準ずる

①自立支援の強化

養護老人ホーム大慈吉祥園①に準ずる

② 介護サービスの調整・管理と給付管理

新人職員も増えた中でサービス提供記録やケアカンファレンス資料作成の指導ができていないため、今後新人職員への指導・フォローが必要。モニタリングがうまく機能していない問題を改善しようと現在試行錯誤しており、新しい方法でしっかりモニタリングができるようにしていきたい。

3. <職員体制>

管理者 1 名	介護支援専門員 1 名 (相談員兼務)	支援員 5.5 名
	相談員 1 名 (吉祥園主任相談員兼務)	

4. <要介護度状況>

令和2年3月31日現在

項目	女	男	計
その他 (非該当)	2	1	3
要支援1	6	2	8
要支援2	3	3	6
要介護1	23	7	30
要介護2	8	4	12
要介護3	5	1	6
要介護4	3	1	4
要介護5	1	0	1
合計	51	19	70
平均要介護度	1.8		

5. <総括>

自立支援を意識し、ゲスト本人ができることを奪ってしまわないような介助を目標に動いたが職員間の認識の差が大きいという問題点が浮き彫りになり、実施できたことは少なかった。今後は、その認識の差をどのように埋め、実施して行けるかが課題となる。看取りに関しては、弥勒園と一緒に進んでいた委員会を吉祥園だけでの実施に変更した。職員間での話し合いをより一層密にすることができ、看取りとは何なのかをもう一度考える機会を持つことができた。

